

市の考えを問う 一般質問

12月11日・14日・15日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。

いようにする。また、25年度から開始した退職者の再任用の取組により、経験や能力を引き継ぐ。計画的で効率的な行財政運営の推進

Q 今後の行財政運営の方向性は

A 財政課長 人口減少により財源も縮小傾向となる。既存事業の見直しにより人件費等の経常的・義務的経費の削減を行う。事業に優先順位をつけ、予算と職員を効率的に配置していく。



平成27年度の一般会計補正予算（第5号）と国民健康保険特別会計補正予算（第1号）が可決されました。

一般会計

Q ふるさと納税と空き家対策

山中 基充 議員

A 研究を進めていく

質問一 空き家対策の状況は。

二 シルバー人材センターとの空き家の適正管理に関する協定は。

三 ふるさと納税の活用は。

答弁一（市長） 平成27年4月から11月末までの空き家等に関する相談は24件で、その多くが樹木や雑草の繁茂、建築物等の管理に対する相談である。相談があった空き家等に対しては、現地を調査し、

所有者等を確認した上で、必要に応じて適正に管理をするよう依頼通知を送付している。

二 公益社団法人鶴ヶ島市シルバー人材センターと「空き家等の適正管理に関する協定」を11月に締結した。これによりシルバー人材センターは、空き家等の所有者等と契約し、定期的な見回りや樹木の伐採、小修繕等の必要な管理を

有料で行う。

三 今回締結したシルバー人材センターとの協定には、ふるさと納税を活用した空き家等の管理は含まれていないが、今後、他の自治体の動向を注視しつつ研究をしていく。



◎その他の質問

一 障がい者の災害時の医療問題

二 建築基準法改正に即した耐震診断の実施を

三 総合戦略の方向性と取組

北市民センター運営事業

Q 空調設備設置工事期間中の施設利用者への配慮は。

A 地域活動推進課主席主幹 工事は1月から3月を予定しているが、部屋の使用状況等を考慮しながら行っていく。

みどりの保全事業

Q 一般家庭から出た枝葉のチップ化は。

都市施設保全プロジェクトチーム主席主幹 本事業において、対象を一般家庭に広げることが難しい。公園、街路樹、学校等の公共施設からの枝葉の処理を行っていく。

学校図書館資料ネットワーク

Q 事業の目的は。

A 学校教育課長 学校図書館のデータベースと図書館システムを連携し、各学校での蔵書管理

国民健康保険特別会計

特定健康診査等事業

Q 受診者増の要因は。

A 保健センター所長 受診勧奨キャンペーン、健康マイレージのポイント付与、個別勧奨通知等によると考えている。